

公 示

第 43 回学術集会会長（副会長）選出の件

定款第 22 条第 1 項、学術集会会長および副会長選出に関する細則に従い、本学会第 40 回学術集会会長の任期満了による第 43 回学術集会会長の選挙を第 40 回学術集会時に開催される社員総会（評議員会）にて行います。第 43 回学術集会会長に選出された者は第 40 回学術集会終了の翌日より、第 42 回学術集会終了日までは副会長となります。候補者となることを希望する者は、所定の届け出用紙を用いて、評議員 5 名以上の推薦状を添えて、2012 年（平成 24 年）10 月 31 日（当日消印有効）までに学会事務局まで簡易書留にて届け出て下さい。

なお、届け出用紙は評議員及び常任委員（有権者）に開示致しますので御了承下さい。

候補者となることを希望する者は、書留として返信用封筒を同封し書留便にて学会事務局まで届け出用紙を請求して下さい。

2012 年 7 月 1 日

一般社団法人 日本集中治療医学会
理 事 長 氏 家 良 人

日本集中治療医学会
優秀論文賞の募集について

2012年度日本集中治療医学会優秀論文賞の授賞候補論文の募集を行います。
今年度は学術集会会期の関係上2012年10月31日(必着)までに学会事務局に申請下さい。
尚、応募用紙は日本集中治療医学会事務局までFAX(03-3815-0585)にて御請求下さい。

2012年7月1日

日本集中治療医学会
理事長 氏家 良人

優秀論文賞選出内規

第1条 目的

日本集中治療医学会優秀論文賞（本賞・奨励賞）を設け、集中治療医学の発展に寄与する。

第2条 対象

- 1) 筆頭著者が日本集中治療医学会会員であること。
- 2) 対象論文は、本学会総会の前々年10月から前年11月の間に本学会機関誌に掲載、あるいは本学会学術集会において発表後権威ある学術誌に掲載された原著論文とする。

第3条 選考委員会

選考委員会は次の構成とし、理事会の議を経て理事長が委嘱する。選考委員会は学術集会会長が委員長となり選考を行う。

1. 本会会長、前会長ならびに前前会長
2. 機関誌編集委員会より1名
3. 評議員より4名

委員の任期は、2.は3年、3.は1年とする。

第4条 募集方法

- 1) 選考委員長は年1回、候補論文の募集を行う。自薦または他薦による。
- 2) 候補論文は別に定める優秀論文賞選考の申し合わせ事項に従い公募する。
- 3) 機関誌編集委員会は候補論文を推薦できる。

第5条 選考方法

- 1) 選考委員会は別に定める優秀論文賞選考の申し合わせ事項に従って最終候補論文を選出する。
- 2) 受賞論文は理事会の議を経て決定する。
- 3) 受賞論文は年3編以内とする。

第6条 受賞

賞状ならびに賞金を本学会年次総会において会長より授与する。賞金額は、当面本賞1件20万円、奨励賞1件10万円とする。

第7条 受賞者は、同年度の学術集会において該当論文内容を報告しなければならない。

第8条 基金

第13回天羽会長よりの寄付金を基金とし、その他寄付金を受け付ける。基金の管理運用は理事長が行う。

付 則

この内規は、1986年3月1日から施行する。

この改定は、2001年5月18日から施行する。

この改定は、2002年1月11日から施行する。

この改定は、2003年5月1日から施行する。

この改定は、2004年3月5日から施行する。

(ただし、理事長に関する事項は2005年2月23日から施行する。)

この改定は、2005年12月22日から施行する。

会 告

第40回日本集中治療医学会学術集会(第4報)

第40回日本集中治療医学会学術集会

会 長 岡元 和文

学会幹事 新田 憲市(医師部門)

下村 陽子(看護部門)

菊池 紀敏(臨床工学技士部門)

〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1

信州大学医学部

救急集中治療医学講座

テ ー マ： 原点から未来へ！アルプスの麓で集中治療を学ぶ

会 期： 2013年2月28日(木)～3月2日(土)

理事会と評議員会は2月27日(水) ホテル ブエナビスタにて行います。

会 場： 長野県松本文化会館, 松本市総合体育館, まつもと市民芸術館, 松本市浅間温泉文化センター(計14会場)

演 題 申 込： 2012年7月4日(水)午前～8月22日(水)12:00 正午までです。一般演題は学術集会ホームページ上でのオンライン受付のみとします。

最 新 情 報： ホームページ「第40回日本集中治療医学会学術集会 <http://www.convention.co.jp/40icm/>」をご覧ください。

<学術集会概要>

第40回学術集会という節目の年であることを意識して、会長講演、特別講演、招請講演、教育講演、シンポジウム、パネルディスカッションなど以外に、イノベーション講演、Pro-Con デイバート、English sessionなどを計画しています。

会場を選択し易いように会場毎にテーマを決めました。学術集会の概要につきましては2012年8月末時点での予定企画情報を掲載しております。タイトルおよび内容は変更になる可能性があります。

1. 集中治療のプログレスを知る会場①(2,000席)

- 1) 会長講演 40周年記念：集中治療—原点から未来へ—
- 2) シンポジウム 原点から未来へ—21世紀の集中治療はどうあるべきか—
- 3) 特別講演 イノベーション(1) 高頻度振動換気の開発
- 4) 岩月賢一記念講演 Critical CareにおけるHypercytokinemiaと急性血液浄化法によるその制御
- 5) シンポジウム 重症敗血症の集中治療はどうあるべきか
- 6) 特別講演 機械的人工呼吸法—40年の歩み—
- 7) シンポジウム ARDSに対する治療戦略
- 8) 特別講演 脳障害の病態と脳蘇生法
- 9) シンポジウム 脳蘇生法—神経集中治療ガイドライン作成のために—
- 10) 日本集中治療医学会・日本循環器学会共同企画：特別講演 循環器集中治療—40年の歩み—
- 11) 日本集中治療医学会・日本循環器学会共同企画：シンポジウム 21世紀の循環器集中治療—プロの循環管理—

2. 集中治療のプログレスを知る会場②(750席)

- 1) 特別講演 重症患者の栄養管理 —40年の歩み—
- 2) シンポジウム 重症患者の栄養管理 —栄養管理プロの技—
- 3) 特別講演 イノベーション(2) 補助循環の開発
- 4) 招請講演 重症患者の凝固線溶系の病態と治療
- 5) シンポジウム 重症患者の凝固線溶系 —プロの管理—
- 6) 特別講演 新生児集中治療 —40年の歩み—
- 7) シンポジウム 小児集中治療の最前線 —小児ECMO最前線—
- 8) 特別講演 プロの集中治療医は重症患者の予後を改善する！
- 9) パネルディスカッション 21世紀の集中治療は誰が担うべきか

3. Pro-Con ディベート会場(250席)

- 1) 重症呼吸不全には体外式肺補助(ECLA, ECMO)を用いる？
- 2) Septic shock患者にはPMX治療を行う？
- 3) ARDSの人工呼吸はVCVモードで低一回換気量を遵守する？
- 4) 中心静脈/肺動脈カテーテルは重症患者管理に有用である？
- 5) 心停止に対する低体温療法Intra-Arrest Cooling？
- 6) 栄養管理に中心静脈栄養法は不要である？
- 7) 人工呼吸離脱には自然呼吸トライアル(SBT)を用いる？
- 8) 手術前の抗生物質投与のガイドラインは有用である？
- 9) DIC治療は基礎疾患の治療で十分である？
- 10) ICUの人工呼吸管理において一日一回の鎮静中断は不可欠である？
- 11) ICUは初期研修医が手技を行う格好の場である？
- 12) Rapid response team(RRT)は院内急変対応に有用である？
- 13) 急性呼吸不全患者の気管挿管には筋弛緩剤を使用する？
- 14) 外科的気管切開および経皮的気管切開は集中治療医が術者を行う？
- 15) プロカルシトニンは抗菌薬の使用決定に有用である？
- 16) CRRTのnon-renal indicationは意味がある？
- 17) 重症肺炎にはステロイドを使用する？
- 18) Closed-ICUはICU患者管理に有用である？
- 19) 重症急性膵炎には早期経腸栄養を行う？
- 20) 重症ARDSにはAPRVを使用する？
- 21) Intensive insulin therapyは有害である？

4. Learning Topics in Intensive Care Medicine(150席)

- 1) Special lecture Future directions for resuscitation: Extracorporeal cardiopulmonary resuscitation and therapeutic hypothermia
- 2) Special lecture An electronic telemedicine intensive care unit(eICU): What, How and Does it improve intensive care?
- 3) Special lecture Terminal care in pediatric ICU
- 4) Special lecture Metabolic management of critically-ill patients
- 5) Special lecture ARDS: A phantom disease?
- 6) Special lecture Coagulation and bleeding disorders in the Critically-ill children
- 7) Special lecture Patient-ventilator interaction (案)
- 8) Special lecture Pediatric sepsis: What's different from adult?
- 9) Special lecture Monitoring of auto-PEEP: why and how
- 10) Special lecture APRV
- 11) Special lecture Application of ultrasound in the ICU
- 12) Special lecture Digital EEG monitoring in ICU
- 13) Special lecture Rapid response team & Code blue team

- 14) Special lecture End-of-life care in Asian intensive care units: how differ between countries
- 15) Special lecture Conceptual advance in distribution of ventilation and pleural pressure in ARDS.
What has EIT taught us?
- 16) Special lecture Combating tropical infectious diseases in Thailand
- 17) Special lecture Extracorporeal lung assist: State-of-the-art
- 18) Special lecture New concept of ventilator-associated complications
- 19) Special lecture Diagnosis and treatment of tropical diseases

5. 集中治療のトピックスを学ぶ会場(150席)

- 1) 教育講演 エビデンスからみた心肺蘇生法
- 2) 教育講演 メディエータ除去のための急性血液浄化療法
- 3) 招請講演 高解像度CTからARDSの予後を予測する
- 4) 教育講演 プロカルシトニンは何を意味するか?
- 5) 教育講演 痛みのメカニズム
- 6) 教育講演 重症心不全に対する薬物療法 ―プロの技―
- 7) 招請講演 小児重症患者の栄養管理とその特殊性
- 8) 教育講演 分子生物学的観点からみた脳蘇生・脳保護
- 9) 教育講演 細菌感染症に対する免疫療法
- 10) 招請講演 拡張型心筋症に対する免疫吸着療法
- 11) 教育講演 重症患者におけるheart-lung interaction
- 12) 教育講演 Post-cardiac arrest syndromeの最新の管理
- 13) 教育講演 重症患者と自律神経活動
- 14) CTG (Clinical Trial Group) 委員会報告 臨床研究の醍醐味
―日本から世界へエビデンスを発信しよう―
- 15) ICU機能評価委員会報告
- 16) 新生児・小児集中治療委員会報告 パネルディスカッション 広がりゆく小児集中治療領域の多施設共同研究
- 17) 集中治療教育プログラム改訂委員会報告
- 18) 集中治療の労働力調査プロジェクトワーキンググループ報告

6. 専門医セミナー会場(500席)

- 1) 教育講演 人工呼吸器関連肺炎(VAP)の最近の話題
- 2) 教育講演 工学的手法による急性血液浄化療法(急性肝不全を含む)
- 3) 教育講演 相対的副腎機能不全の診断と治療
- 4) 教育講演 小児呼吸管理の最近の話題
- 5) ワークショップ 集中治療最新文献厳選
- 6) 教育講演 急性冠症候群の治療指針
- 7) 教育講演 ICUベッドサイドでの心エコー検査の見方
- 8) 教育講演 ガイドラインにみる感染性心内膜炎の治療
- 9) 教育講演 ガイドラインに基づく院内感染対策
- 10) ワークショップ M&Mカンファレンスを始めよう ―重症複雑症例への匠の知恵―
- 11) 教育講演 Acute kidney injuryのICU管理
- 12) 教育講演 危機的な徐脈性不整脈の管理
- 13) 教育講演 重症患者の輸液管理はどうあるべきか
- 14) 教育講演 敗血症性ショックの全身管理

7. ME集中治療をディベートする会場(200席)

- 1) 教育講演 臨床工学技士が考える人工呼吸療法
- 2) シンポジウム PCPS・ECMO・IABPの実際
- 3) 教育講演 NICUにおけるNO吸入療法

- 4) ワークショップ 認定ICU専門臨床工学技士(仮)に向けて
- 5) 教育講演 Team STEPPSで安全文化醸成を目指す
- 6) パネルディスカッション 集中治療領域における臨床工学技士のあり方に関して
—ICUにおける臨床の係わり第4弾—
- 7) 教育講演 ECMOのup to date
- 8) ワークショップ 集中治療における医療機器研修への取り組み
- 9) ワークショップ 若手臨床工学技士の主張 —集中治療業務の苦悩と格闘—
- 10) 教育講演 CRRTのup to date

8. 展示・ポスター会場・40周年写真展(体育館)

9. 優秀演題発表の会場(150席)

一般応募演題から選びます

10. 集中治療チームの会場(600席)

- 1) シンポジウム Mobile ICU(未定)
- 2) 特別講演 ECMO(欧米からの報告)
- 3) パネルディスカッション 体外式肺補助(ECLA, ECMO)の安全管理
- 4) イブニングセミナー 第2回 MIICS
- 5) 集中治療におけるウーマンパワー(未定)
- 6) 日本集中治療医学会・日本医療ガス学会共同企画: 特別講演 事故事例から学ぶ医療ガスの安全管理
- 7) 日本集中治療医学会・日本医療ガス学会共同企画: パネルディスカッション 集中治療室での医療ガスのトラブルを克服する
- 8) シンポジウム 災害医療における集中治療の役割(未定)

11. 集中ケアのプログレスを知る会場(1,300席)

- 1) 特別講演 これからの鎮痛・鎮静
- 2) シンポジウム 鎮痛・鎮静プロトコルはどうあるべきか —ガイドライン作成に向けて—
- 3) 特別講演 “からだところ”の医療 —音楽療法と生体電気—
- 4) 日本集中治療医学会・日本心臓リハビリテーション学会共同企画: 特別講演 早期リハビリテーションは予後を改善する
- 5) 日本集中治療医学会・日本心臓リハビリテーション学会共同企画: シンポジウム 救急集中治療領域におけるリハビリテーションの新しい在りかた
- 6) 特別講演 終末期ケア —QOLからQODへ—
- 7) シンポジウム ICUにおける終末期ケアはどうあるべきか
- 8) 特別講演 子どもたちを放射能から守るために
- 9) 教育講演 分かり易い日本版敗血症診療ガイドライン
- 10) 特別講演 集中治療における教育ラダーの意義
- 11) シンポジウム 集中治療における教育ラダーのあり方

12. 集中ケアをディベートする会場(290席)

- 1) 特別講演 ICUにおける感染管理
- 2) パネルディスカッション 抗菌薬の適正使用を考える
- 3) 招請講演 米国におけるICUでの終末期医療の諸問題
- 4) 特別講演 集中ケア —看護の原点—
- 5) シンポジウム これからの集中ケア看護はどうあるべきか
- 6) 招請講演 口腔内潜在性感染と口腔ケア
- 7) パネルディスカッション 実践! 口腔ケアガイドラインを紹介します!
- 8) 招請講演 集中治療領域における倫理意思決定
- 9) 招請講演 脳波で脳を読む

- 10) 教育講演 プロの呼吸管理のノウハウ
- 11) 教育講演 ナースのための医療機器安全管理のピットフォール
- 12) 教育講演 セミナー英語実践講座 英語で患者さんとしゃべる！

13. 1年間勉強しなかった人のために！ 集中ケア基本セミナー会場(150席)

- 1) 基本セミナー NPPVの基本とトラブルシューティング
- 2) 基本セミナー 気道確保
- 3) 基本セミナー 重症不整脈の見方
- 4) 基本セミナー IABP/PCPSの基本
- 5) 機関誌編集委員会看護部会企画：テーマ とにかく看護研究をやってみよう！
- 6) 基本セミナー NST
- 7) その他企画

14. よりよく深く学ぶ人のために！ 集中ケア専門セミナー会場(350席)

- 1) 専門セミナー VAPバンドルとは何か？
- 2) 専門セミナー エンドトキシン吸着療法
- 3) 専門セミナー 学会発表の仕方
- 4) 専門セミナー 論文の書き方
- 5) 専門セミナー 集中ケアに役立つ画像診断(X線)
- 6) 専門セミナー 集中ケアに役立つ画像診断(CT)
- 7) 専門セミナー 厳密な血糖管理は本当に必要だろうか？
- 8) 専門セミナー 人工呼吸器管理：BIPAP/APRV 自発呼吸温存がなぜ重要なのか！
- 9) 専門セミナー 人工呼吸器管理：HFOV
- 10) 専門セミナー 集中治療におけるシミュレーション研修
- 11) Pro-Con デイバート 新人看護師のICU配置に関して
- 12) 第40回日本集中治療医学会・集中ケア認定看護師会共同企画：実践講座
- 13) その他企画

<参加事前登録について>

オンラインで事前参加登録を受け付けております(2013年1月10日(木)まで)。詳細や登録方法につきましては、第40回日本集中治療医学会学術集会ホームページ(<http://www.convention.co.jp/40icm/index.html>)の「事前参加登録」をご参照下さい。

<演題発表について>

注意：ヒトを対象とした研究発表では、ヘルシンキ宣言(2000年10月、エジンバラ改訂)に基づき、所属機関の倫理委員会の承認を得て行った研究を発表して下さい。また、症例報告では、患者のプライバシー保護のため、患者が特定できるような表現はご遠慮下さい。発表・講演を行う演者は、開示する義務のある利益相反状態があれば、学会抄録あるいは発表スライド・ポスター等において自己申告して下さい。

<一般演題採用者の入会について>

一般演題の筆頭発表者、共同発表者は、日本集中治療医学会の会員に限ります。未入会の方は至急、入会手続きをお願いいたします。発表者に未入会者がいる場合は、演題発表ができない場合もありますのでご注意ください。

入会手続きにつきましては、日本集中治療医学会ホームページ (<http://www.jsicm.org/>) の「入会案内」をご参照いただくか、または、送付先の住所、氏名を記載した返信用封筒(80円切手貼付)を同封し、入会申込書必要部数を明記して下記までご請求下さい。

入会申込書請求先：〒113-0033 東京都文京区本郷3-32-6 ハイヴ本郷3F

日本集中治療医学会事務局

TEL：03-3815-0589

<宿泊のご案内>

アルプスの麓の松本は水と空気が美味しい街です(「神様のカルテ」の舞台)。近くには、安曇野(「おひさま」の舞台)、浅間温泉、美ヶ原温泉、犀温泉など以外にも、足を延ばすと夜間スキーが楽しめる白馬、御神渡りで有名な諏訪湖、「黒部の太陽」で有名な大町温泉郷などがあります。信州の2月末～3月初旬は快晴が多く、北アルプスなどの風景写真を撮るのに最高の季節ですので、カメラをお持ち下さい。

信州は温泉が日本で2番目に多いところ。冬の信州の温泉をお楽しみ下さい。グループで温泉施設に宿泊されると安い価格で宿泊できます。多くの温泉施設が松本市内(浅間温泉、美ヶ原温泉、犀温泉など)、安曇野市(穂高温泉郷)、大町市(大町温泉郷)、諏訪湖の御神渡りで有名な諏訪市などにあります。グループでの温泉施設への宿泊は、素晴らしい思い出になるでしょう。

また、折角の機会です。昼は学会に参加し、夜は白馬でスキーまたは白馬の雪に埋もれた宿に宿泊するのも思い出になるでしょう。エキゾチックな信州の冬を楽しめます。朝晩はバス運行を計画しています。

宿泊は学術集会ホームページ (<http://www.convention.co.jp/40icm/index.html>) の宿泊受付で案内しております。予約受付締め切りは2013年1月20日(日)となっています。または、下記の日本旅行松本支店にご連絡ください。みなさまの第40回学術集会へのご参加をお待ちしております。

■連絡先

第40回日本集中治療医学会学術集会の運営に関するお問い合わせは、日本集中治療医学会事務局ではなく、下記の学術集会事務局宛にお願いします。

1. 第40回学術集会信州大学準備室
信州大学医学部救急集中治療医学講座内
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
TEL：0263-37-3018 FAX：0263-37-3028
E-mail: 40icm@shinshu-u.ac.jp
担当秘書：北條、金澤
2. 第40回学術集会運営準備室
日本コンベンションサービス株式会社
〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同霞が関ビル18階
TEL：03-3508-1214 FAX：03-3508-1302
E-mail：40icm@convention.co.jp
担当：野上
3. 宿泊・交通問合せ先
日本旅行松本支店
TEL：0263-34-5555 FAX：0263-35-3925
E-mail：nta_40icm@nta.co.jp